

株式会社 ホームドライ

「誠意と技術でお客様を笑顔に」
福岡、佐賀、熊本に80店舗を展開

今回紹介する企業は、県内をはじめ、佐賀や熊本県でクリーニング店80店舗を展開する株式会社ホームドライです。

創業者で、同社の代表取締役の大坪良平さん（71歳）は、20代のころは農業に従事。その後、八女市でクリーニング店を経営していた姉のもとで、クリーニングの技術を学んだ後、昭和55年、柳川商店街の空き店舗で開業します。

「機械の購入費や人件費、家賃の支払いなど、当時は資金繰りが大変でした。ライバル店の出店などありましたが、お客様のニーズに丁寧に応えることで、危機を乗り越えることができました」と当時を振り返る大坪社長。昭和59年、徳益に工場を新設し、本社も現在の場所に移転します。

「機械の購入費や人件費、家賃の支払いなど、当時は資金繰りが大変でした。ライバル店の出店などありましたが、お客様のニーズに丁寧に応えることで、危機を乗り越えることができました」と当時を振り返る大坪社長。昭和59年、徳益に工場を新設し、本社も現在の場所に移転します。

同社が創業時から力を入れていたのは染み抜き。「お客様から預かった大切な、思い入れのある服ですから、付いた汚れや染みを落とすとして、お客様の喜ぶ笑顔を見れたときが一番の幸せ」と大坪社長。現在同社には、染みの種類や状態、素材の特性などを分析し、最適な染み抜きを行う「匠抜き」の専門の技術者を3人配置。その技術は「他社には負けない」と大坪社長は胸を張ります。

また、接客にも力を入れる同社。「店舗に『魂』を入れる」（大坪社長）ため、毎月1回、従業員を集め、専門のコンサルタントによる研修を行い、心のこもった接客力の向上に努めています。

幹線道路沿いや大手スーパーに併設するなどしながら店舗を増やし、平成18年には筑後支店と工場を建設。福岡市周辺にも進出し、「あと数店増えれば、福岡地区にも工場を建設したい」と大坪社長。同社は、確かな技術と接客の良さで、しっかりと顧客の心をつかみ売り上げを伸ばしています。

●社長のひとこと

PM2.5の問題や花粉症の増加など、最近では洗濯物を外で干せる環境が減っています。コインランドリーとクリーニング店の併設など、新たな店舗形態も考えながら、今後もお客様に喜んでもらえる接客、料金、店づくりを念頭に頑張っていきたい。

【問】市商工・ブランド振興課
企業誘致・ベンチャー支援係 ☎
77・8762



- 1 洗いから乾燥までは機械で行うが、最後はベテランの従業員がアイロンをかけて仕上げている
- 2 国道208号線沿いにある徳益店。すぐ裏には本社社屋と工場がある。
- 3 会社を1代で築いた、代表取締役の大坪良平さん
- 4 本社工場内にある水洗機。一度に250枚のワイシャツを洗うことができる

【企業情報】

- 本社所在地＝徳益 661
☎ 72・5186
- 資本金＝2000万円
- 代表取締役＝大坪良平
- 従業員＝250人

